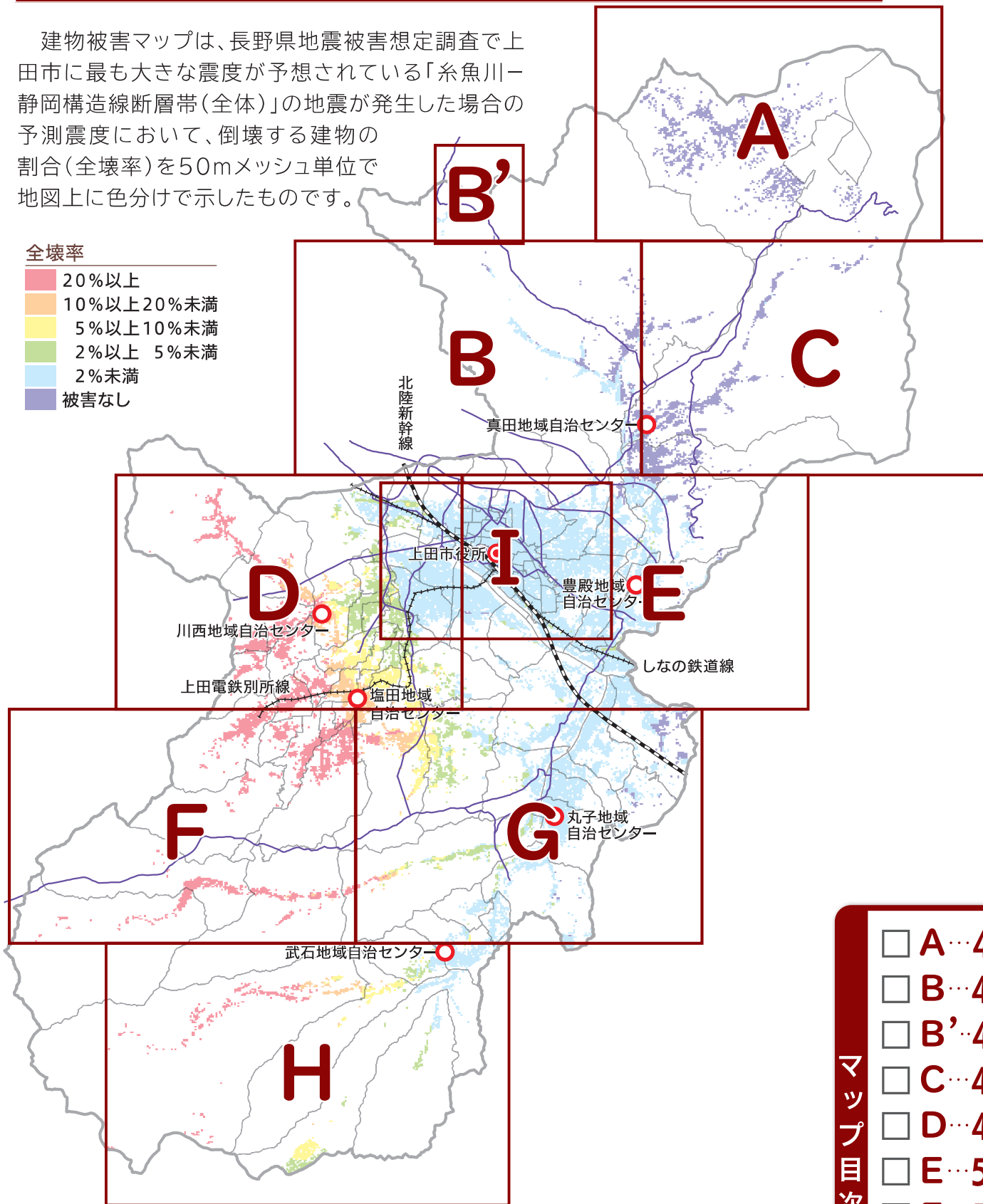


建物被害マップ区割り図

建物被害マップは、長野県地震被害想定調査で上田市に最も大きな震度が予想されている「糸魚川-静岡構造線断層帯(全体)」の地震が発生した場合の予測震度において、倒壊する建物の割合(全壊率)を50mメッシュ単位で地図上に色分けで示したものです。

全壊率

- 20%以上
- 10%以上20%未満
- 5%以上10%未満
- 2%以上 5%未満
- 2%未満
- 被害なし



全壊率は、各地域において建物に被害(倒壊)が出る可能性を示したもので、地震による揺れ(震度分布)と、各地域の建物の構造や建築年数などを考慮して予測したものです。

全壊率が低い地域でも老朽化した建物は壊れる可能性がありますし、逆に全壊率が高い地域でも耐震性が高い建物は壊れにくくなります。建物の耐震化率が100%になると全壊する建物の数が10分1程度に軽減するとも言われています。



災害を知る



地震災害リスクを確認する

マップ目次

- A…43-44
- B…45-46
- B'…45
- C…47-48
- D…49-50
- E…51-52
- F…53-54
- G…55-56
- H…57-58
- I…59-60